

各 位

2021年2月16日
株式会社天夢人

これから鉄道写真を始めるシニア世代にお届けする
鉄道写真の入門書、『60歳からの鉄道写真入門』刊行

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2021年2月17日に、旅鉄HOW TO 008『60歳からの鉄道写真入門』（著：佐々倉実）を刊行いたします。



鉄道写真を始める前のカメラの選び方から撮影方法までアドバイス

「旅と鉄道」をはじめとした雑誌や書籍の鉄道写真撮影、テレビ番組の鉄道動画撮影などを手掛ける鉄道カメラマンの佐々倉実氏が、鉄道写真を始めるにあたって必要になってくる撮影機材の揃え方、カメラの使い方、迫力ある鉄道写真の撮り方、美しい風景写真の撮り方、そして動画撮影の撮り方など、さまざまなノウハウを豊富な作例とともにアドバイスします。

鉄道写真を撮ってみたいけど、どんなカメラを使用したらいいかわからない、バランスの取れたカッコいい写真や、美しい風景の写真はどうすれば撮れるのかなど、佐々倉氏の半世紀にわたる撮影経験をもとに丁寧に解説しています。

また、鉄道撮影に出かけた先の観光など、鉄道撮影以外の楽しみ方についても紹介しています。

第1章 写真を撮る前に

1

もちろん、お手持ちのカメラがあれば、そのカメラでチャレンジしてみましょう。新しくカメラを買う予定があれば、鉄道写真に向けたカメラの条件を確認しましょう。新製品としては、

- ・列車が通過して動いているので、早いシャッター速度でブレをなくし、目的のタイミングでシャッターを切ること
- ・動く被写体にピントを合わせること
- ・近づいてきた列車の色によって変わる露出に対応すること
- ・列車に近づきすぎない、迫力のアングルを撮影するために、望遠レンズも使えることなどがあげられます。それぞれ例はありますが、一般的な話としては、

①デジタル一眼レフカメラ

フォーカス、機能も早いものが多いカメラです。

「鉄道撮影にはどんなカメラを選べばいいの？」

鉄道写真に向けたカメラはどんなカメラ？

かつてのフィルム全盛の時代に比べて、写真を撮る機材が大きく増えました。機能や性能も目進み歩。フィルムの露出感が決まっていた時代には思いもよらなかった「目的のシャッター速度と絞りを決めて、感度で露出設定する」タイプの使い方も一般的になっています。

デジタル一眼レフカメラ、ミラーレス一眼レフカメラ、コンパクトカメラ、スマートフォンカメラ機能……実に多岐に渡っています。

025

026

鉄道写真を撮るにあたり、鉄道の撮影に向いているカメラの解説、メモリーカードや三脚といったカメラ以外で揃えておきたいもの、撮った後のデータ整理方法などを解説します。

第2章 基礎編 鉄道写真の撮り方

2

まず、露出の決め方です。露出のカメラの露出機能は基本的に、人物や風景の場合、プログラムモードやオートモードで自動的に露出を合わせてくれるため十分に撮影できます。高速で動くものを撮影するシャッター速度優先モードもあります。鉄道撮影ではちょっと困ったこともおきます。車両の色が白ければ、極端に暗いアンダーに、SLなど黒い列車では極端なオーバーになってしまう

まうことがあるのです。また、列車がカメラに向かってくるときにヘッドライトの明かりに露出があつてしまふと、驚くほどアンダーになってしまう。そこで必要になってくるのが手動で露出を合わせることになるマニュアル露出です。

ちなみに列車を撮影する際のシャッター速度はアップ撮影の場合、列車の速度にもよりますが、1/1000秒〜2/1000秒くらいで撮ると良いです。

シャッター速度が早い場合、列車が流れてアフレしてしまふ。撮影後に列車の前面に書かれている車両ナンバなどを見て、列車前面下の線路にピントがあつて、シャッター速度が遅かった可能性がります。何度かテストをして、シャッター速度を決めましょう。

マニュアル露出が使えるようにしよう

まずは、露出の決め方です。露出のカメラの露出機能は基本的に、人物や風景の場合、プログラムモードやオートモードで自動的に露出を合わせてくれるため十分に撮影できます。高速で動くものを撮影するシャッター速度優先モードもあります。鉄道撮影ではちょっと困ったこともおきます。車両の色が白ければ、極端に暗いアンダーに、SLなど黒い列車では極端なオーバーになってしまう



一眼カメラのレンズにカメラを近づけると、拡大して見ると線路にはピントがあつていないのに列車が少しアフレしているのが見えます。このときのシャッター速度は1/600秒。もう少し早いシャッター速度が正解でした。



オート露出で撮影した例です。緑色の背景に黒い列車。更に明るいヘッドライト。背景に露出を合わせると明るすぎるオーバー露出に、逆にヘッドライトが白飛びになってしまう。オート露出は露出が安定していません。このような場合はマニュアル露出の撮影がおススメです。

045

044

明るさの合わせ方、ピントの合わせ方、シャッター速度や絞り、ISO感度の関係性、ホワイトバランスのカメラの設定方法、撮影場所やアングルの決め方など、基本的な撮り方を解説します。

第3章 実践編 編成写真を撮ろう

3



左がカーブの外側から撮影したアウトカーブ、望遠レンズで撮影している。右がカーブの内側から撮影するインカーブで広角レンズを使って撮影。同じ撮影ポイント、同じ列車でも異なる印象になる。左は望遠レンズ有田～三ツ沢(みづのわ)間。左撮影データ:35ミリ換算約250mm、f/1000秒、F10、ISO400、WB補正。右撮影データ:35ミリ換算約65mm、1/1000秒、F10、ISO400、WB補正。



列車の感度が低い場合には、アウトカーブでは感度が圧縮されて短く見えますので、インカーブの方が良い場合があります。久大本線奥由布～高平(ゆのひら)間。左撮影データ:35ミリ換算約300mm、1/640秒、F9、ISO400、WB補正。右撮影データ:35ミリ換算約60mm、1/800秒、F5.6、ISO400、WB補正。露光フィルム使用。



カーブの写真でも列車の後ろまできれいに写れば理想です。超広角レンズで切り取る場合には列車正面に感度の低いカメラを添えて撮影しましょう。北・高松本線終着中(むせうし)～深川間。撮影データ:35ミリ換算約400mm、1/250秒、F4、ISO400、WB補正。右/北線本線新庄田～敦賀間。撮影データ:35ミリ換算約250mm、1/500秒、F3.2、ISO400、WB補正。

「カーブで列車を撮影しよう」

カーブによってレンズは使い分ける
列車が進むにつれて、どんな形を添えて近づいてくるカーブは、車両写真の中でも胸の見せ所です。
カーブの写真は大きく分けて2つあって、カーブの外側から撮影するのがアウトカーブ、カーブの内側から撮影するのがインカーブと呼ばれています。
アウトカーブでは、望遠レンズで撮影することが多く、インカーブでは標準レンズや広角レンズでの撮影になります。

067
068

直線やカーブなどで列車をメインにして、迫力があり列車がカッコよく見える「編成写真」の撮り方を紹介。一部の写真では撮影データも記載していますので、撮影の際の参考にできます。

第4章 実践編 風景も交えて撮ってみよう

4



高層を上げ、大井川を渡る大井川鐵道の蒸気機関車。撮影は東京近くの日中で、光線角度が高いため列車前面にあたる影は深く、逆に増大した川の水面に光が強く反射する。景は左側を向けて列車を立たせて、右側の空を背景にしました。大井川鐵道保原(ぬくり)～川崎渡瀬後防渡(さきまだ)間。撮影データ:35ミリ換算約300mm、1/1000秒、F10、ISO400、WB補正。

「同じ景色でも季節や時間帯によって印象が変わる風景写真を撮ってみよう！」

第2章から第3章にかけて、しっかりとした鉄道車両の撮影をお伝えしました。カッコいい車両の写真ですが、季節ごとの風景や朝夕の撮影が、美しい写真を撮るのも楽しいです。
絶景をテーマに、いろいろなシチュエーションで鉄道写真に挑戦してみましょう。

095
094

春の花、夏の海・山、秋の紅葉、冬の雪景色など季節に合わせた撮影や、太陽高度の低い朝夕の撮影、夜間の撮影など、周辺の風景も交えた撮影の方法を解説します。

第5章 動画を撮影してみよう

5

動画撮影用の機材を、おもに目的別に分けてみます。

- ・写真が中心で、列車が来た時の場所の雰囲気や動画を記録したい
- ・スマートフォンでも撮影には十分な画質のものがあり、雰囲気の写真は十分です。ただ、ズーム、マニュアル設定など使いにくい部分があります。とはいえ、ビデオ撮影をおこなっている方には、まず撮影してほしいです。
- ・写真が中心で、とどろき動画も撮りたい
- ・デジタル一眼レフカメラについては、動画機能を使いましょう。本格的な撮影を始めようとする、被写体深度が浅いなど意外と難しく、専用のビデオカメラよりも扱いが難しい部分が多いです。
- ・腰を据えてビデオ撮影をしたい

おすすめはビデオ専用のカメラです。5万円〜10万円クラスのものが良いでしょう。センサーサイズが比較的小さいものでも大丈夫です。



「動く列車には動く映像！」

せっかく撮影に行くなら動画も撮影しよう！

せっかく撮影に出かけたら、ぜひ映像も撮っておきたいものです。動画が撮影できるデジタルカメラを目的別にリストアップしました。動画撮影の場には、写真撮影以上に機材によって差が出ます。目的にあった機材を使いましょう。

動画の撮影に必要な機材の選び方から、動画撮影の基本的なノウハウまで解説します。各動画の解説のそばにあるQRコードをスマートフォンなどで読み込むことで、作例の動画を見ることができます。

第6章 スマートフォンを活用しよう

鉄道会社各社からリリースされている列車走行位置アプリなど、鉄道撮影の際に役立つスマートフォンのアプリなどを紹介します。

第7章 おすすめ鉄道旅

鉄道撮影に出かけた先で、写真撮影以外の旅の楽しみ方を紹介します。ちょっとした観光や名物の食べ物などに出合える鉄道撮影の旅がより楽しく感じられます。

著者プロフィール

佐々倉 実(ささくらみのる)

1960年東京都杉並区生まれ。有限会社轍(わだち)代表。小学生から鉄道写真を撮り始め、撮影歴は半世紀を超えた。メーカーでデジタルカメラの開発を担当後、鉄道カメラマンになる。「旅と鉄道」誌で写真担当のほか、おもな著作に「富士鉄」(講談社刊)、「鉄道絶景カレンダー」(山と溪谷社刊)など、映像集に感動の「美景鉄道」(MAXAM)、「日本の新幹線・特急」(シンフォレスト)など、撮影番組に「沁みる夜汽車」(NHK-BS1)「素晴らしき日本鉄道の旅」(BS-TBS)などがある。

【書誌情報】

書名: 旅鉄 HOW TO 008 『60歳からの鉄道写真入門』

仕様: 四六判 208 ページ

定価: 1700円+税

発売日: 2021年2月17日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。

<https://amzn.to/2YqgiqM>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:北村 光

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>